

感染症情報 2月22日～28日

府下小児科196医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	602例(堺市	31例)
②RSウイルス感染症	148例(堺市	1例)
③溶連菌感染症	105例(堺市	4例)
④突発性発疹	54例(堺市	3例)
⑤咽頭結膜熱	25例(堺市	3例)

府下インフルエンザ定点298医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	6例(堺市	0例)
---------	-------	-----

が報告された。今回は前週比1.3%減の978件であった。感染性胃腸炎は府下で前週と比べて4%減、堺市では前週33例→今回31例であった。RSウイルス感染症が府下で前週より14%増、堺市で前週・今回とも1例であった。溶連菌感染症は府下で3%減、堺市で前週8例→今回4例であった。咽頭結膜熱が府下で4%減、堺市で前週・今回とも3例であった。

インフルエンザは府下で6例(堺市で0例)の報告は、昨年同週(3,249例)に比べて著減した状態が続いている。

指定感染症:

【大阪府の推移】(患者報告数:大阪府感染症情報センター、陽性率:大阪府)

報告	2/8～2/14	+871例、累計45,947例に、
	2/15～2/21	+634例、累計46,581例に、
	2/22～2/28	+506例、累計47,123例(原文ママ)になっていた。
陽性率	2/10～2/16	36,923検査中、764件陽性、陽性率2.1%、
	2/17～2/23	33,775検査中、629件陽性、陽性率1.9%、
	2/24～3/2	33,923検査中、481件陽性、陽性率1.4%

【堺市の推移】(陽性者数は堺市居住者のみ、陽性率は堺市以外の居住地を含む)

陽性者数	2/8～2/14	+57例、累計は2,954例であった。
	2/15～2/21	+61例、累計は3,015例であった。
	2/22～2/28	+39例、累計は3,054例であった。
	(11/23-11/29の週に堺市と大阪府で2例食い違いがある。堺市累計では2/28までに3,052例)	
陽性率	2/11～2/17	2,470検査中、50件陽性、陽性率2.0%、
	2/18～2/24	2,724検査中、68件陽性、陽性率2.5%、
	2/25～3/3	2,166検査中、34件陽性、陽性率1.6%であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。